

沖電気の工場や事務所での最も大きな環境負荷は「CO<sub>2</sub>等の温室効果ガス排出」です。

このため、電力および化石燃料の消費により排出する「エネルギー起源のCO<sub>2</sub>排出量」と「半導体製造工程で使用するPFC系ガスの排出量について、削減目標を立て活動しています。

## 1 2002年度の温室効果ガス削減実績

### (1) エネルギー起源のCO<sub>2</sub>排出量について

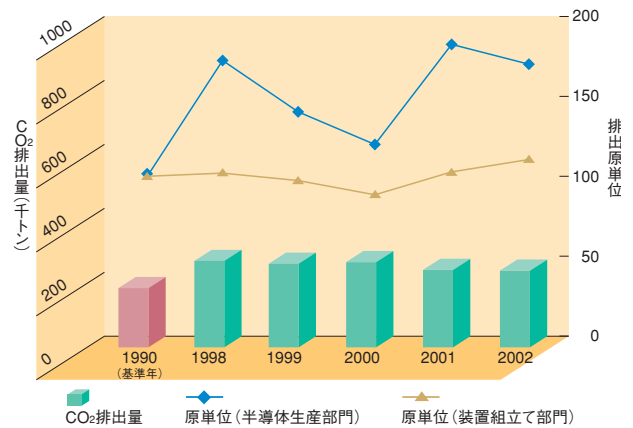
海外工場を含む沖電気グループのエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量は、297千トンで、これは2001年度に対し、0.8% (CO<sub>2</sub>換算で2400トン)の微減でした。

また、部門別CO<sub>2</sub>排出量(原単位<sup>注1</sup>)に関し、半導体製造部門は、省エネ活動や生産性向上により2001年度比8%改善しましたが、装置組立て部門別は売上高減の影響で10.5%悪化しました。

### (2) PFC系ガス排出量について

半導体製造工程で使用するPFC系ガスを、より環境負荷の小さいガスへ変更するなど対策を行いました。この結果、地球温暖化係数<sup>注2</sup>換算で、1995年度比23%と大幅削減しました。

CO<sub>2</sub>排出量推移 (沖電気グループ主要生産拠点を対象)



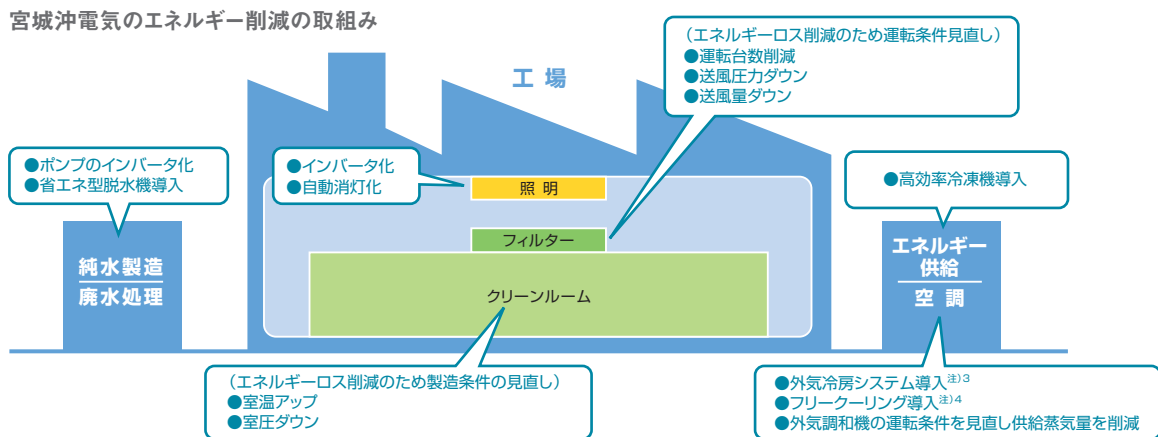
注1 原単位: CO<sub>2</sub>排出量/売上高

注2 地球温暖化係数: 地球温暖化に与える影響を二酸化炭素の量に換算した数値指標

## 2 半導体工場省エネルギーの取り組み

沖電気のエネルギーの9割が、半導体工場で消費されています。このため、半導体工場を中心に省エネルギーに取り組んでいます。

下図は、半導体を製造する宮城沖電気(株)における省エネ活動です。



注3 外気冷房: 冬季の低温外気を利用し冷房すること

注4 フリークーリング: 生産設備の冷却により温まった水を、冬季の低温外気で冷却した冷水と熱交換させること

## 3 温室効果ガス(PFC系ガス)排出削減の取り組み

半導体製造工程では、地球温暖化に影響をもつパーフルオロコンパウンド(PFC)を使用し、一部を大気中に排出しています。このため、世界半導体会議(WSC)では1995年比で2010年に、排出量を地球温暖化係数換算で10%削減する目標を掲げています。

沖電気グループでは、より環境負荷の小さいガスへの変更や排ガス処理装置の設置、あるいは工程改善により排出量の削減に取り組んでいます。

PFC系ガス排出量推移 (地球温暖化係数換算)

